

文武両道計画

部活動名	男子バスケットボール部	
部の目指す成績戦績人物育成、方針など	・ GRIT(やり抜く力)を育む	
	・ 部の活動を通して、1人の人間として成長すること。挨拶・時間・礼儀・感謝はコートに入る前の最低条件として指導する。	
	・ 本大会出場・東京都ベスト16・学校の内外から応援されるチームになる	
年間活動計画 [公式戦・準公式戦] [コンクール・発表]	4月 東京都春季大会兼関東大会予選 新入生含め、この部として大事にするものの共通認識を持つ。	
	5月 インターハイ予選 悔いの残らぬように大会に臨む。応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける。中間考査対策と両立する。	
	6月 インターハイ予選 悔いの残らぬように大会に臨む。 新チーム始動にあたり、目標やチームとして大事にするものの共通認識を持つ。	
	7月 当たり負けしない体づくり、走り負けしない脚づくり、我慢強い心づくりをテーマとし、徹底的に基礎基本を鍛える。期末考査対策と両立する。	
	8月 当たり負けしない体づくり、走り負けしない脚づくり、我慢強い心づくりをテーマとする。また、多くの練習試合を通じて、チーム・個人の課題を明確にする。 部活動体験を開催し、広報活動を進める。	
	9月 新人戦支部大会に向け、連携を強化する。 応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける	
	10月 新人戦支部大会に向け、連携を強化する。応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける。 中間考査の勉強と共に計画的に進める。	
	11月 新人戦支部大会に向け、連携を強化する。応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける。また、部活動体験を開催し、中学生への広報活動も行う。また、期末考査への準備もすすめる。	
	12月 応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける。 ウインターカップでTO等補助役員として全国大会を経験し、レベルの高いチームの取り組みなどを学ぶ。また、年明けの新人戦本大会に向け、完成度を高める。	
	1月 新人戦本大会(10月に勝ち進めば) 新人戦支部大会後、年末年始の練習の成果を発揮する。応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける	
	2月 応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける。 中野区民大会に向けて完成度を高める。 学年末に向けて勉強計画を立て、実施する。	
	3月 中野区民大会・関東大会予選に向け、完成度を高める。応援されるチームを目指し、奉仕活動など学校へ貢献する活動を続ける。	

<p>週間活動計画</p> <p>[平常授業の週]</p> <p>A 活動内容 (練習メニュー等)</p> <p>B 活動延長の必要 (延長の必要理由)</p> <p>C 学習の計画 (具体的勉強方法)</p>	月曜	A オフ
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：
		C 課題、苦手科目の勉強など
	火曜	A トレーニング (外ラン・アジリティトレーニング・ウエイトなど)
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：40 人近い部員をグループに分けてトレーニングを回すため、まとまった活動時間の確保が必要。
		C 予習復習、課題、各自の課題に向けた自宅学習
	水曜	A フロアにて、その時期のテーマに沿った練習
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：40 人近い部員を指導するのにまとまった時間が必要。
		C 予習復習、宿題、各自の課題に向けた自宅学習
	木曜	A トレーニング (外ラン・アジリティトレーニング・ウエイトなど)
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：40 人近い部員をグループに分けてトレーニングを回すため、まとまった活動時間の確保が必要。
		C 予習復習、宿題、各自の課題に向けた自宅学習
	金曜	A フロアにて、その時期のテーマに沿った練習
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：40 人近い部員を指導するのにまとまった時間が必要。
		C 予習復習、宿題、各自の課題に向けた自宅学習
	土曜 (授業日)	A フロアにて、その時期のテーマに沿った練習
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：40 人近い部員を指導するのにまとまった時間が必要。
		C 予習復習、宿題、各自の課題に向けた自宅学習
	土曜 (授業なし)	A オフ (A/B チームに分けて活動するためローテーションで活動あり)
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：
		C 予習復習、宿題、各自の課題に向けた自宅学習
	日曜	A フロアにて、その時期のテーマに沿った練習
		B 延長 [不要 <input checked="" type="radio"/> 必要] 理由：40 人近い部員を指導するのにまとまった時間が必要。
		C 予習復習、宿題、各自の課題に向けた自宅学習
部としての 定期考査に向けて 具体的学習計画	3週前	部の約束通り、普段の授業から集中し取り組む。試験期間の計画を立てる。苦手強化を中心に勉強時間を増やす。
	2週前	学習計画をもとに実施。部で定めた成績不良者は下校延長をせず、可能な限り自宅学習の時間を確保する。
成績不振者の指導		対象者は個人的に顧問へ計画を提出。学習状況の確認。長期休業中では学習機会を作り、実施させる。部の中でサポート出来る部分は協力し、空き時間等では極力苦手教科の担当に指導をお願いする。